



# Rotary Club of SUGITO

## 杉戸ロータリークラブ週報

2006～2007年度 RI のテーマ

### Lead the way

会長 仁部前明 幹事 下津谷忠男 会報委員長 田中昌夫

#### 第1832回例会(2006年8月1日)

##### 《ガバナー公式訪問》

##### 点鐘

仁部会長

##### ロータリーソング

君が代、奉仕の理想

##### お客様紹介

第2770地区がバナー

飯野雪男様

第6グループガバナー補佐

矢島紀一様

ぞよろしくお願ひ申し上げます。さて  
細井自動車様が表彰を受ける

前回の例会でご案内がありましたように、細井自動車様が関東運輸局埼玉運輸支局長から自動車分解整備事業の運営が極めて優秀な成績であることで表彰されました。しかも受賞者代表で受理されたと伺いました。誠にめでとうございます。この前は、埼玉県自動車整備技



##### 会長挨拶

仁部会長

##### 職業奉仕の実践

飯野ガバナー、午前中、沢山のご指導を頂き誠に有難うございました。その上にこれからは、卓話、クラブ協議会のご指導を頂きます。どう

能競技大会でこともあろうに第26回27回と二大会連続優勝を飾ったと伺っております。皆さんと共に喜び申し上げます。本当にめでとうございました。

##### 職業奉仕のお手本

この度の受賞は、まさに職業奉仕の実践の証

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

であると考えます。職業奉仕の定義に

- ・ 職業奉仕とは職業に誇りを持ち、正直かつ品位のある方法で職業を実践しようとするものです。
- ・ 職業奉仕とは、働きよい職場をつくり、地域により一層奉仕することです。
- ・ 職業奉仕とは、職場で、そして、生活の中で、ロータリーを生かしていくことです。

等々が示されています。会員の皆さんにおかれても実践者であります。この機会にわが身を振り返りたいと思っております。

### 浦和学院高が甲子園出場

29日浦和学院が優勝で熱い戦いが終わりました。圧倒的強さで勝ち進んだ鷺宮高でしたが、この一勝で甲子園への緊張感からか1回の裏にツーランを浴びてしまいました。浦学は、素人でも一戦一戦強くなってきたなと思える状況でした。一戦を2～3人の継投策で勝ち進んで後半で逆転勝ちしてきたのだが。一回の裏に得点をして浦学ペースにしての完勝でした。青春のドラマから、大人社会は学ぶべきものが多々ある。試合後、赤坂（浦学）に「しっかり投げてこい」と増淵（鷺宮）が身に着けていたお守りを託した。敗戦した選手たちが号泣する姿は、チームが全力を尽くした証の美しい涙ではないでしょうか等々。

### 誕生祝・結婚祝

細井委員長

今月の誕生祝は落合会員、新井会員、野口会員です。結婚祝は中村会員です。おめでとうございます。



### 幹事報告

下津谷幹事

国際奉仕セミナー開催のご案内

日時 2006年9月15日（金）14:00～

場所 大宮ラフォーレ 清水園

登録料 各クラブ 12,000円

8月よりロータリーレートが1ドル=114円になります。

各クラブより例会変更のお知らせがきております。

### ガバナー卓話

飯野雪男様



率先しよう。まず、行動。

今年度のウィリアム・ビル・ボイドRI会長のテーマの日本語訳は「率先しよう」であり、強調事項として前年度同様「水保全」「識字率の向上」「飢餓と保健」「ロータリー家族」を掲げております。このようなテーマ及び強調事項に対して我々各ロータリークラブ、各会員が取り組む際には幾つかの了解事項や前提があるように思えてなりません。

了解事項の第1は「寛容の精神」第2は「違いの認識」第3は「高い倫理観」であり、前提は次の4つあると考えられます。「英雄は不必要」「多様な方法」「実用性と必要性」「重点順序」です。

高い倫理観に裏付けられた、違いを認識した、寛容の精神が働かない社会奉仕などということは考えられないし、そのような社会奉仕など一般社会からも受け容れられないでしょう。受け容れられないどころか反感さえかうことがあるでしょう。

高い倫理観で何でしょうか。この思想はロータリーの基本である4つのテストに相共通するものがあります。このような倫理観によって武装し、このような倫理観で人間関係を形成し、会社経営を継続しなければロータリークラブのメンバーとして留まることは不可能でしょう。違いの認識とは何でしょうか。世の中TPOがそれぞれ時々刻々変化しています。Aクラ

ブでは正論であってもBクラブでは正論とは限りませんし、今日の正しさは明日の正しさを保証しません。原理原則を否定する訳ではありませんが、TPOの変化に応じて臨機応変に対処することが不可欠です。臨機応変の対応は社会的存在としての将来を保証することになります。寛容の精神とは何でしょう。違いについては相対的な面もありますが、それぞれ絶対的なものがあり、それを否定することは出来ません。違いは違いとして認識し、差は差として認識してそれを前提として物事に対処することが不可欠です。このような違いや差を許容することから寛容の精神は生まれるものと考えられます。

以上のような了解事項に基づいてロータリー活動を展開しようとした場合に幾つかの制約条件があります。それら制約は制約として、言い換えれば前提として受け止める必要があります。どのクラブも、どの会員も万能ではありません。人材も、組織力も、財力も限界があります。リーダーは必要ですが英雄は不必要です。万能な英雄の存在を許すと組織の風土は荒廃し、組織は崩壊します。英雄は長期間権力の座に君臨しがちですが、リーダーは時代が、組織が要求する人材が代わり代わり選抜されて、その感性と指導力を発揮することになります。

ロータリークラブも例外ではありません。従って、適材適所で責任を分担し、リーダーがそのまとめ役、推進役となって組織を活性化することが必要とされます。

次は多様な方法です。クラブ、クラブによってそれぞれ個性があるだけでなく、制約条件にも差があります。他クラブのやり方は参考にはなっても単純に真似しても良い結果は得られません。実用性と必要性をどうマッチさせるかが第3の鍵となります。理想を追いすぎても駄目です。必要性の無いプロジェクトも駄目です。実用性と必要性を兼ね備えることによって、継続が期待でき一般社会からの高い評価も得られます。

最後は、重点順序の認識です。それも継続性を前提とした重点順序を意識した対応の仕方

です。地区、各クラブとも組織の力、財力などにおいて限界があります。それら限界の中で数多くのプロジェクトに取り組む訳にはいきません。重点順序を決めて取り組むことになります。

これまで抽象論を述べてきましたが具体的に地区運営はどうするのか、地区の運営方針について列挙してみましょ。

#### 1 まず、行動。

「率先しよう」と言ってみても行動が伴わなければなんら意味が無く、掛け声だけで終わってはなりません。情報の共有化とCLPの思想は車の両輪です。クラブの全員が各クラブの現状を初めとして同レベルの情報を共有して、各クラブの個性に応じた活動を展開することが、結果としてクラブの活性化を実現することになります。

2 クラブや会員が主役。地区はアシスタント。地区はガバナー、ガバナー補佐、各地区役員一丸となって主役である各クラブ、各会員に対してサポートします。ある時は必要情報の提供、ある時は奉仕プロジェクトへの参加要請、ある時は地区とクラブとの協同プロジェクト展開などです。

3 クラブ活性化の尺度はいろいろ考えられますが、次のようなものに要約されると考えられます。

会員数、出席率、奉仕プロジェクトの数・内容・成果、財団・米山への寄付金額、マスメディアなどでの取り上げプロジェクトの数など

#### 4 ガバナー補佐の役割。

数年前からDLPが叫ばれるようになりましたが、言葉だけが独り歩きしてきた観がありました。この度CLPがDLPを後追いして明らかにされて、ようやくDLPも具体的なものとして認識されるようになりました。従って、今年度は本来の役割をガバナー補佐に期待するものであります。

役割はグループ内各クラブの現状把握、的確な情報収集と情報発信であります。

#### 5 地区運営方針。

各部門共通事項

成熟社会到来下での、発展、成果主導の見直し社会における「社会奉仕団体としてのロータリークラブの在り方」を全面的に考え直したい。

ロータリー情報発信の量と質を向上させて、ロータリーの社会的存在感を向上させ、ロータリーの活性化を実現しましょう。

地区の広報委員会においてマスメディア、隣の2570地区と共同で具体的なものを現在企画中。

地区もクラブも各部門間の壁を取り払い、活動や情報の共有化を図り、外に対しては情報発信等において一元化を図りましょう。ロータリー財団、米山記念奨学への協力なくしてロータリーを語れないことを再確認しましょう。

個別部門

前年の森田年度の方針を踏襲します。

### 出席報告

大作委員長

出席免除 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
8/1	28	23	5	4	96%

### スマイル報告

大作委員長

**関口会員** 申し訳ありませんが欠席します。健康に留意して下さい。

**落合会員** 私は8月1日生まれ。今日が69歳の誕生日です。目もよし、髪の毛もふさふさ、悪いとことなし、親も息子も・・・。

**川田会員** すずしい気持ちが良い日ですね。皆様、お元気ですか？

**戸賀崎会員** 飯野ガバナーようこそ。一年間よろしくお祈いします。結婚、誕生祝いの皆さんおめでとうございます。

飯野ガバナー、矢島ガバナー補佐、ようこそおいで下さいました。今年一年どうぞよろしくお祈いします。

以下同文 下津谷幹事、林会員、武井会員、大作会員、野口会員、庄司会員、中村会員、長岡会員、篠原会員、中島会員、渡辺孝会員、新井会員、井上会員、黒岩会員、細井会員、渡辺良一会員、本多会員、田中会員、鈴木会員、

本日投入額 33,000円

累計額 148,000円

## クラブ協議会

紙面の都合上ガバナーの講評のみを掲載致します。



### クラブ奉仕委員会

私はロータリーに入って30数年たちますが、クラブ数も会員数も少ない頃から日本のあちこちのクラブにメーキャップをして来ました。釧路RCや富山RCにも行きましたが、地方と東京では全然違います。しかし、メーキャップをすることで、知らないことを知るきっかけになったり、時にはビジネスチャンスを生むことさえあります。私からのお願いとしては、是非メーキャップをして欲しい。メーキャップはいいところばかりで害はありません。

次にCLPのことですが、難しく考えないで簡単に考えて、まず歩き出し、悪かったらあとで訂正すればいいことですから・・・継続事業については、杉戸中央と杉戸ロータリークラブを区別して考える一般の人々はいません。ライオンズとは区別するかもしれませんが、ロータリーはロータリーとしてどんな小さなことでも継続してもらいたい。まして、小学生、中学生を巻き込んだものならなおさらのことです。庄和RCは今年から献血をやる予定だと言っていました。「始めたからには、ロータリークラブが存在する限り続けて下さい」と、激を飛ばしてきました。



## 職業奉仕委員会

地区、米山の学生選考の試験、セレクトするのに指定校制度というのがあります。今までは埼玉県内にキャンパスがることが条件でしたが、昨年より地区外の東大、お茶の水を加えました。すると決定的な差がありますね。しかし、世の中は頭のいい人ばかりじゃ成り立たない。世の中、一万人に一人、千人に一人の天才というか素晴らしい発明や発見をしたりする人がいて、その成果を残りの人達が享受している。いろいろな人達がいていいわけです。中学生でも掛け算九九が出来ない子もいる。わからない授業を受けながら40分間も座っているのも苦痛かもしれないが、教えるのも苦痛です。大人になって微分、積分を使う機会が何回あるか？私は仕事柄、同業者を見ても参考にはなりません。他業種を見る。特に第二次産業の生産現場を見る。他の業種を視察する機会を是非増やして欲しいと思います。今度、2750地区と合同で高校生の職業体験をやる予定であります。県内の高校から5校を選んで、特に中途退学者の多い高校を選んでやってみたいと思います。



## 社会奉仕委員会

社会って何なんでしょうね。家族や隣近所と仲良くしたり、家族や隣近所に奉仕できない人は社会奉仕は出来ません。いろいろなプロジェクトがあると思います。ローターアクト、新世代、特にライラは去年までは2年間続けて宮古島でしたが、今年は埼玉県内を考えております。テーマは「古代から未来へのロマンを追って」ということで、和光市にある理化学研究所や埋蔵物調査事業団の協力を得てやりたいと思います。ライラの研修なのに、ロータリアンのメンバーが多いのはおかしいので、今年はロータリアンは関係者のみの参加でやるつもりです。

## 国際奉仕委員会

交換学生の受入をふたつのクラブでやったそうですが、いいことですね。これからもどんどん共同でやってください。それが合併へのきっかけになるかもしれません。世の中は手柄を独り占めする必要は全くありません。今まで、米山、財団の事業報告書や決算書等が来てなかったと思いますが、これからは配るようにしたいと思います。GSEの募集も始まっていますが、応募者が市役所の人ばかりなので、是非他の業種の方の応募もお願いします。



## 《矢島ガバナー補佐のコメント》



地区からのお願いですが、これからいろいろなセミナーがありますが必ず出席して下さい。クラブあっての地区、クラブあってのRIですので、地区の各委員会を是非利用すべきだと思います。社会奉仕等の地区補助金もありますので是非ご利用下さい。